

沖縄市スポーツ合宿に伴う新型コロナウイルス 感染症予防対策ガイドライン（県外版）

1. 目的

本ガイドラインは新型コロナウイルス感染症対策として、沖縄県外から来沖し、沖縄市において各合宿団体が安全・安心な状況下でより良いスポーツ合宿を行っていただく事を目的として作成する。

2. 合宿受け入れを可能とする条件

- ① 沖縄県による渡航制限のない場合に限る
- ② 合宿に参加するメンバー全員が沖縄県に到着する14日前から健康であること。
- ③ 合宿に参加するメンバー全員の同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいないこと。
- ④ 沖縄県に到着する過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされた国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がないこと。

3. 体育施設の利用

コザ運動公園体育施設の利用にあってはコザ運動公園指定管理者が定める新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに基づいて利用すること。

4. 合宿における対策

- ① 沖縄への来県前14日間の健康確認
合宿責任者において、合宿参加者全員が沖縄県に到着する14日前からの健康確認（発熱・咳・咽頭痛など）を実施すること。
- ② 合宿期間中の健康確認
沖縄市での合宿期間中は、合宿責任者において、毎日、健康状態の確認を行うこと。（「COCOA」等の接触確認アプリの活用を推奨する）
- ③ 合宿期間中の行動の把握
沖縄市での合宿期間中は、合宿責任者において、合宿参加者全員の行動を把握すること。

5. 体調不良者の対応

合宿期間中に下記の症状がある者についてはホテル待機とする。

- ア 発熱の症状がある者

- イ 強い倦怠感や息苦しさがある者
- ウ 咳、痰、胸部に不快感のある者

6. 接触確認のための対策を講じること

合宿責任者は、合宿期間中及び沖縄県から離れた日から2日間において、合宿参加者全員の健康状態を把握し、新型コロナウイルス感染者、もしくはその疑いが出た場合は、コザ運動公園指定管理者に連絡を行うこと。（「COCOA」等の接触確認アプリの活用を推奨する）

その際、対象者の合宿期間中の行動もあわせて報告すること。

7. 緊急連絡表の提出及び活用

合宿責任者は、合宿期間中に感染者が発生した場合を考慮し、合宿団体、宿泊先、沖縄市観光振興課、コザ運動公園指定管理者の4者において緊急連絡表を制作する。

また、担当者間で共有し緊急時の情報共有がスムーズに行えるよう対策を講じること。

8. 合宿中止の判断

合宿中止の判断については、合宿団体の状況を確認のうえ沖縄市観光振興課及びコザ運動公園指定管理者と協議し決定する。

9. その他

本ガイドライン以外の事項で疑義が生じた場合は沖縄市観光振興課と協議をすることができる。